

みやぎ経済月報

(2005年5月)

平成17年5月27日

目次	
本県の経済概況	1
主な指標の動き	3
鉱工業生産指数	3月 3
大口電力使用量	3月 3
新設住宅着工戸数	3月 4
公共工事請負金額	4月 4
大型小売店販売額	3月 5
乗用車新車登録台数	3月 5
消費者物価指数	4月 6
求人倍率	3月 6
所定外労働時間	3月 7
実質賃金指数	3月 7
企業倒産	4月 7
宮城県景気動向指数(概要)	8
全国・東北等の景況	9
主要経済指標	12

利用される方に

この経済月報は、本県における経済活動の主要項目分野に着目し、当該分野の経済指標の数値変動をもとに、本県経済の状況をマクロ的視点から定性的に表現することを目的としています。

資料は、官公庁、団体、会社等の業務資料及び当該機関の刊行した統計資料等によったもので、資料をご提供いただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。

数字の単位未満は、原則として四捨五入しており、合計と内訳の計とが一致しない場合があります。なお、指標の一部に速報値等を利用しており、翌月に数値変更の場合がありますので、あらかじめご了承ください。

統計表の符号は次のとおりです。

- 「 」 …… 負数
- 「…」 …… 数字が得られないもの
- 「-」 …… 該当数字がないもの
- 「p」 …… 速報値または暫定値

みやぎ経済月報は毎月最終月曜日頃に公表しています。

内容についてのご照会、ご意見は、
宮城県企画部統計課(分析所得班)
〒980-8570
仙台市青葉区本町三丁目8番1号
電話 022-211-2453(直通)
にご連絡下さい。

本誌の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

「1本県の経済概況」(p1)に3か月間の月の変化方向(矢印)を表示しました。

「直近3か月の経済動向」(p2)のレイアウトを変更しました。

宮城県統計課ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/toukei/>

本県の経済概況

(下線部は前月からの主要変化部分。 は変化方向)

3月を中心とした宮城県経済の動向をみると、生産は、特定業種ではなお高水準の生産が続いているが、全体の基調としては横ばい傾向となっている。住宅投資は低調に推移しているが底入れの動きがみられる。公共投資は低調である。個人消費も低調に推移している。企業倒産は、負債総額は大きく減少したが、件数は増加した。一方、雇用は緩やかながらも改善の動きが続いている。

このように、景気は依然として一服感がみられるなかで、緩やかな持ち直しの動きにやや鈍化傾向がみられる。



[前月の概況]

2月を中心とした宮城県経済の動向をみると、生産は、特定業種ではなお高水準の生産となっているが、基調としては横ばいの動きが続いている。住宅投資は低調に推移しているものの底入れの動きがみられる。公共投資は依然として低調である。個人消費も低調に推移している。一方、雇用は緩やかに改善の動きが続いており、企業倒産は、件数、負債総額ともに減少した。

このように、景気は全体として緩やかな持ち直しの動きに依然として一服感がみられる。

→ は月の変化方向。



鉱工業生産指数(3月)は、前年同月比が5か月連続の上昇となった。前月比は、2か月連続の低下となった。大口電力使用量(3月)は、前年同月比が2か月ぶりに増加となった。



新設住宅着工戸数(3月)は、前年同月比が分譲住宅で5か月連続の増加、貸家で2か月連続の増加となった。持家は3か月ぶりに減少となった。

全体では4か月連続の増加となった。



公共工事請負金額(4月)は、前年同月比が発注主体の国、県、市町村ともに5か月連続で減少となった。

全体でも5か月連続の減少となった。



大型小売店販売額(3月、百貨店・スーパーの販売額の合計。既存店比較)は、前年同月比が13か月連続の減少となった。スーパーは前年同月比が30か月連続の減少となった。



乗用車新車登録台数(3月・普通自動車、小型自動車の登録台数の合計)は、前年同月比が3か月連続の減少となった。軽自動車届出台数(3月)は前年同月比が2か月連続の減少となった。



仙台市消費者物価指数(4月)は、生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比が15か月連続の低下となった。総合指数は、前年同月比が5か月連続の低下となった。



求人倍率(3月)は、有効は3か月連続の上昇となった。新規は3か月連続の上昇となった。

所定外労働時間(製造業)(3月)は、前年同月比が減少となった。実質賃金指数(同)(3月)は、上昇となった。



企業倒産(4月)は、件数は前年同月比が3か月ぶりに増加となった。負債総額は前年同月比が3か月連続の減少となった。

特別保証制度利用の倒産件数の構成比は3か月連続の減少となった。

直近3か月の経済動向(前年同月比の動き)

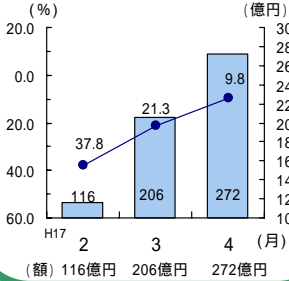
については、前月差

■ は実数値(左目盛)

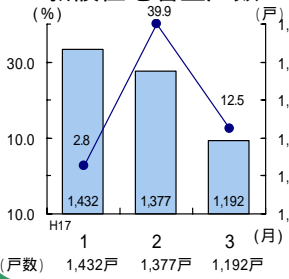
●-● は前年同月比の推移(右目盛)

投資

公共工事請負金額

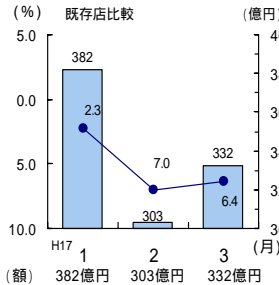


新設住宅着工戸数

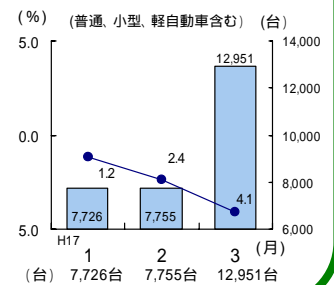


消費

大型小売店販売額

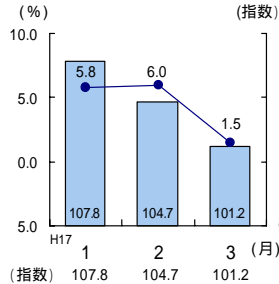


乗用車新車登録台数

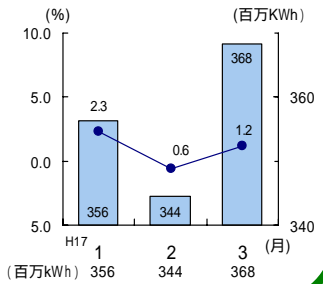


生産

鉱工業生産指数

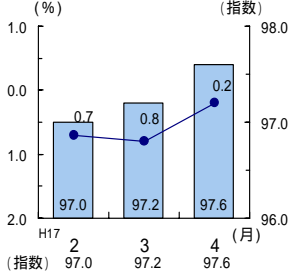


大口電力使用量

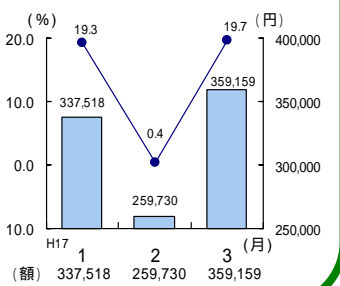


家計

仙台消費者物価指数
(生鮮食品を除く総合)

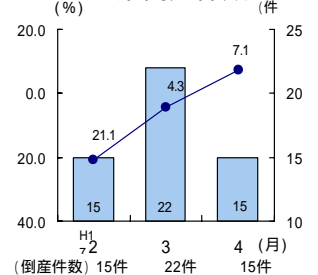


勤労者世帯消費支出(仙台市)



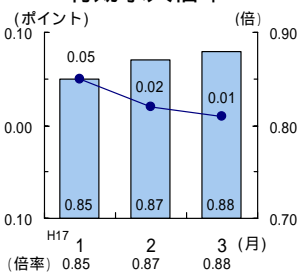
企業倒産

企業倒産件数

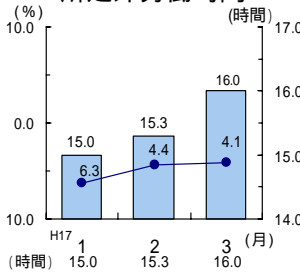


雇用

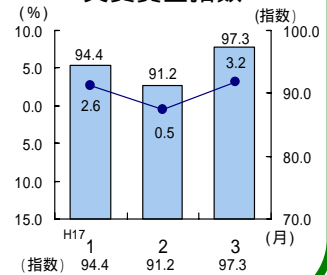
有効求人倍率



所定外労働時間



実質賃金指数



主な指標の動き

1 生産

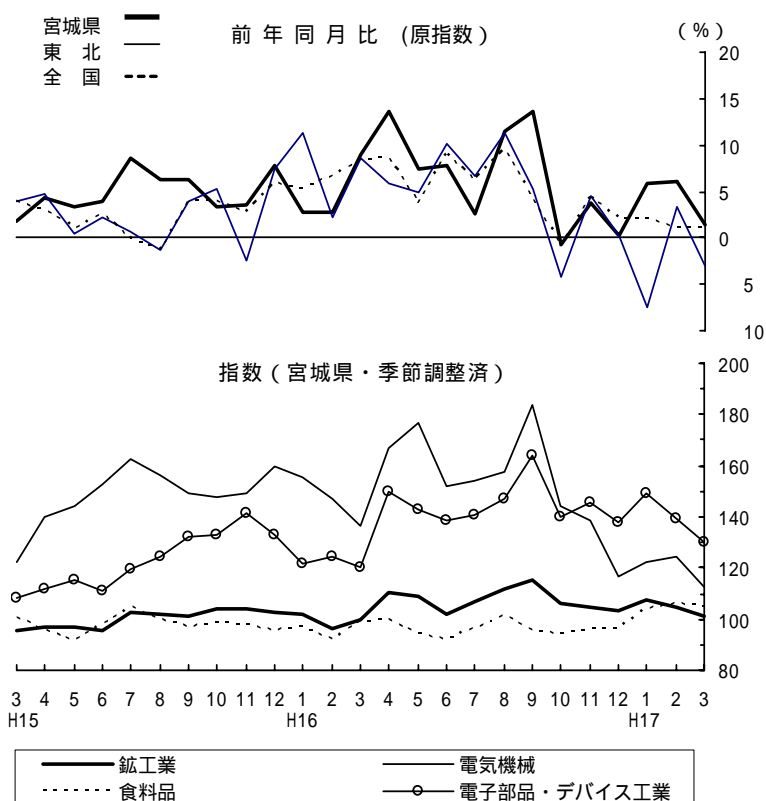
(1) 鉱工業生産指数

3月の鉱工業生産指数(季節調整値、平成12年=100)は101.2(速報値)で、前年同月比(原指数比較)1.5%の上昇となり、5か月連続の上昇となった。業種別の前年同月比をみると、電子部品・デバイス工業、金属製品工業、食料品工業など11業種が上昇となった。

一方で、一般機械工業、電気機械工業、化学、石油・石炭製品工業など8業種が低下となった。

なお、前月比は3.3%の低下となり、2か月連続の低下となった。

(資料：県統計課)

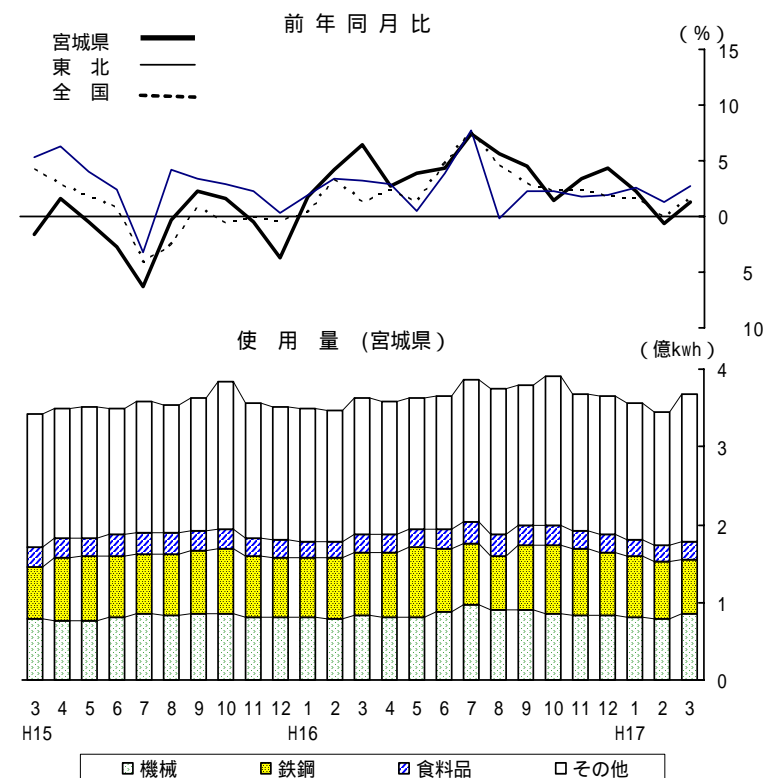


(2) 大口電力使用量

3月の大口電力使用量(契約電力500kw以上)は3億6,834万kWhで、前年同月比1.2%の増加となり、2か月ぶりに増加となった。

業種分野ごとに前年同月比をみると、機械分野は2.2%の増加となり、2か月ぶりに増加となった。鉄鋼分野は15.3%の大幅な減少となり、2か月連続の減少となった。食料品分野は2.1%の増加となり、5か月連続の増加となった。

(資料：東北電力(株))



2 投 資

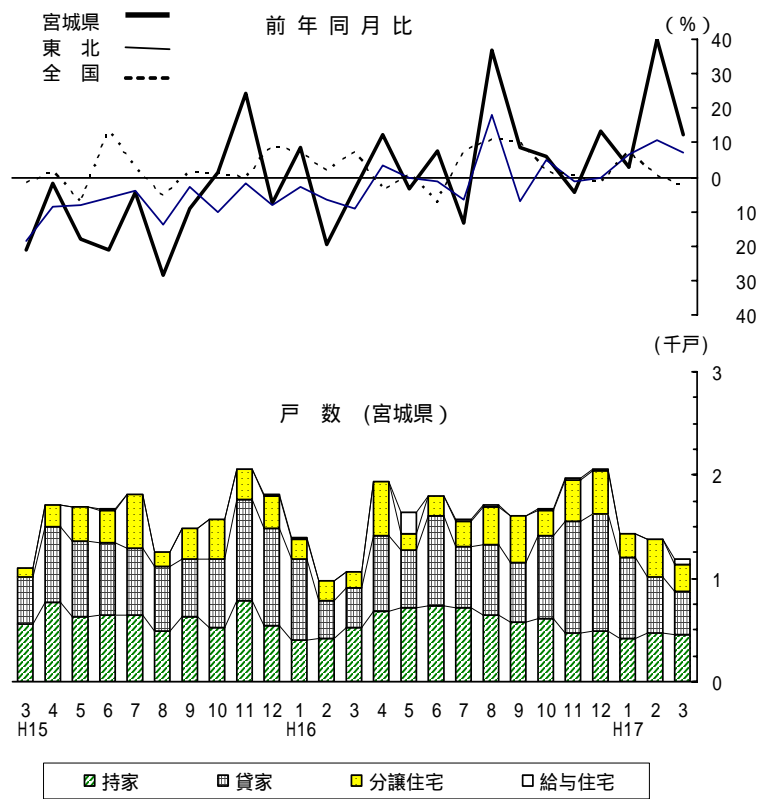
(1) 新設住宅着工戸数

3月の新設住宅着工戸数は1,192戸で、前年同月比12.5%の増加となり、4か月連続の増加となった。

利用関係別に前年同月比をみると、分譲住宅は66.9%の増加となり、5か月連続の増加となった。貸家は13.3%の増加となり、2か月連続の増加となった。

一方で、持家は15.1%の減少となり、3か月ぶりに減少となった。

(資料：国土交通省)

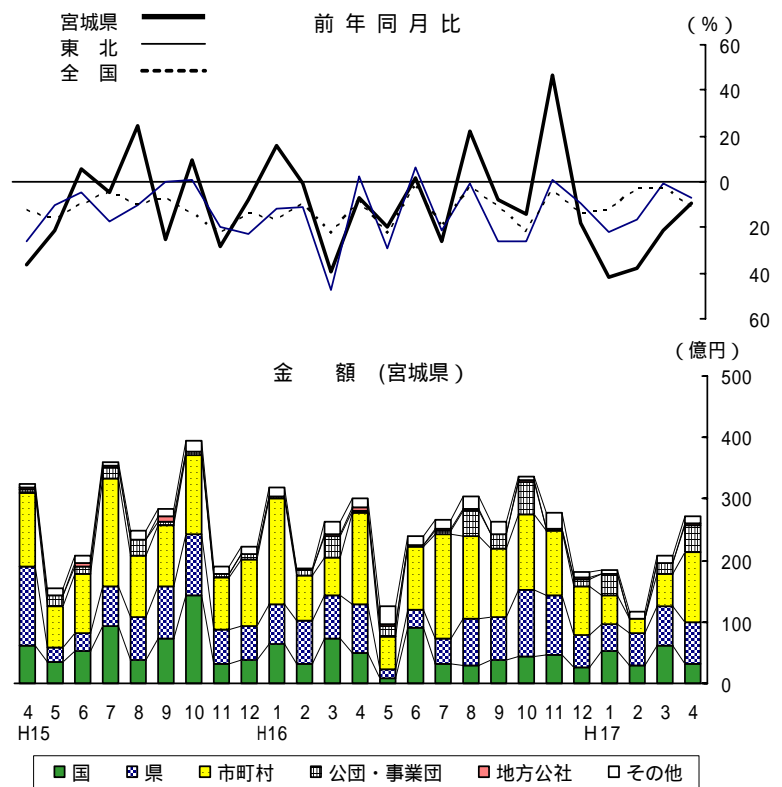


(2) 公共工事請負金額

4月の公共工事請負金額は271億7,700万円で、前年同月比9.8%の減少となり、5か月連続の減少となった。

発注主体別に前年同月比をみると、国は32.8%、県は16.3%、市町村は23.5%とそれぞれ大きく減少し、ともに5か月連続の減少となった。

(資料：東日本建設業保証(株))



3 消 費

(1) 大型小売店販売額

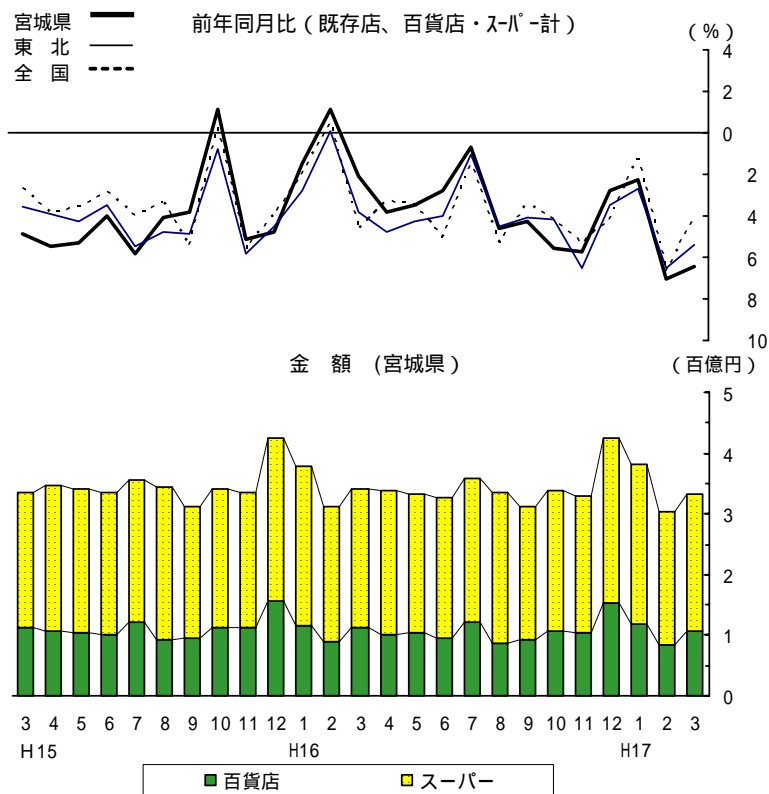
3月の大型小売店販売額(百貨店・スーパーの売上総額)は332億1,000万円で、前年同月比(既存店比較)6.4%の減少となり、13か月連続の減少となった。

業態別に前年同月比(同)をみると、百貨店が5.2%の減少となった。

スーパーは6.9%の減少となり、30か月連続の減少となった。

品目別に前年同月比(同)をみると、飲食料品が9か月連続、衣料品が8か月連続、身回り品が2か月連続、それぞれ減少となった。

(資料:東北経済産業局)

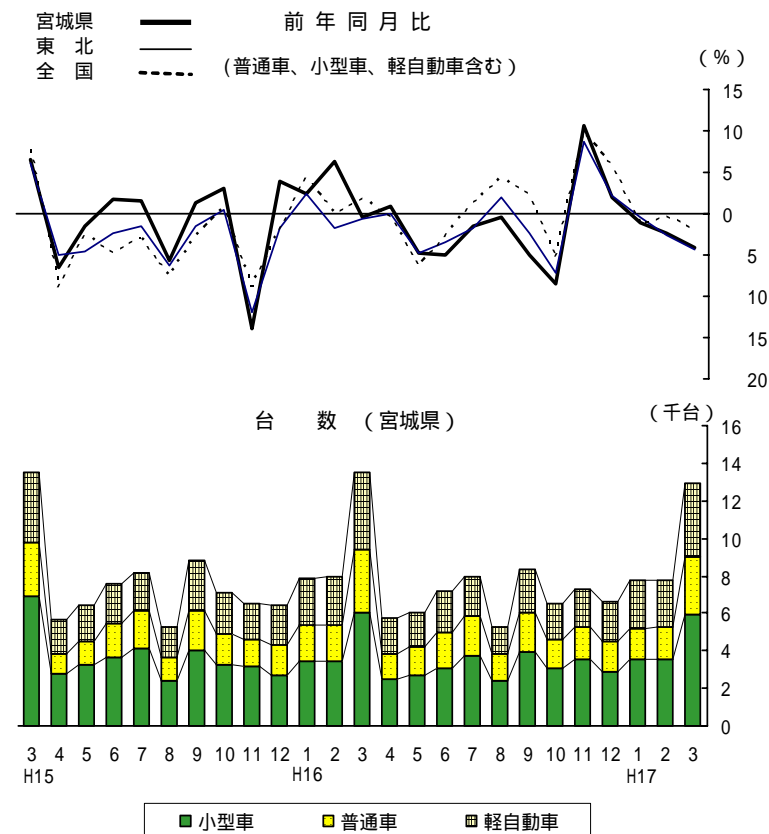


(2) 乗用車新車登録台数

3月の乗用車新車登録及び届出台数(普通乗用車、小型乗用車、軽乗用自動車の合計)は12,951台で、前年同月比4.1%の減少となり、3か月連続の減少となった。

車種別に前年同月比をみると、小型車(排気量2,000cc以下)は1.4%の減少となり、5か月ぶりに減少となった。普通車(排気量2,000cc超)は8.2%の減少となり、3か月連続の減少となった。軽自動車は、前年同月比4.7%の減少となり、2か月連続の減少となった。

(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部、全国軽自動車連合会)



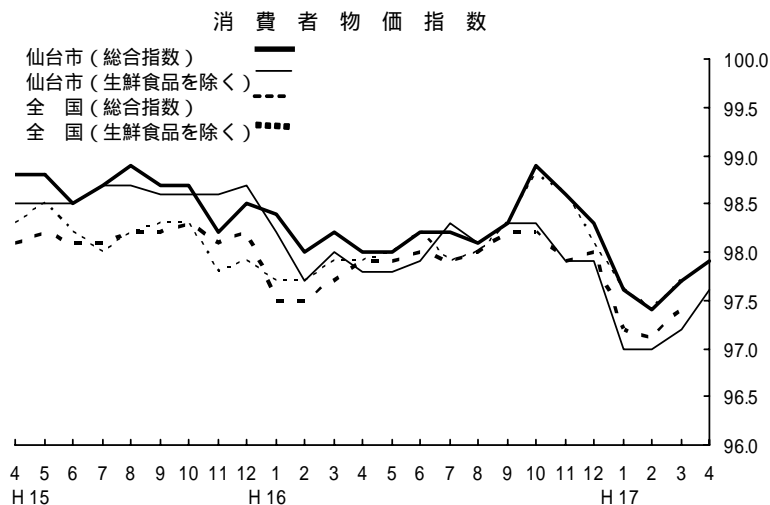
4 物 価

4月の仙台市消費者物価指数のうち生鮮食品を除く総合指数(平成12年=100、中旬速報値)は97.6で、前年同月比0.2%の低下となり、15か月連続の低下となった。また、前月比は0.4%の上昇となり、2か月連続の上昇となった。

総合指数(同)は97.9で、前年同月比0.1%の低下となり、5か月連続の低下となった。また、前月比は0.2%の上昇となり、2か月連続の上昇となった。

10大費目別に前年同月比をみると、家具・家事用品、被服及び履物、交通通信などが低下し、光熱・水道、保健医療、教育などが上昇となった。

(資料:県統計課)



5 雇 用

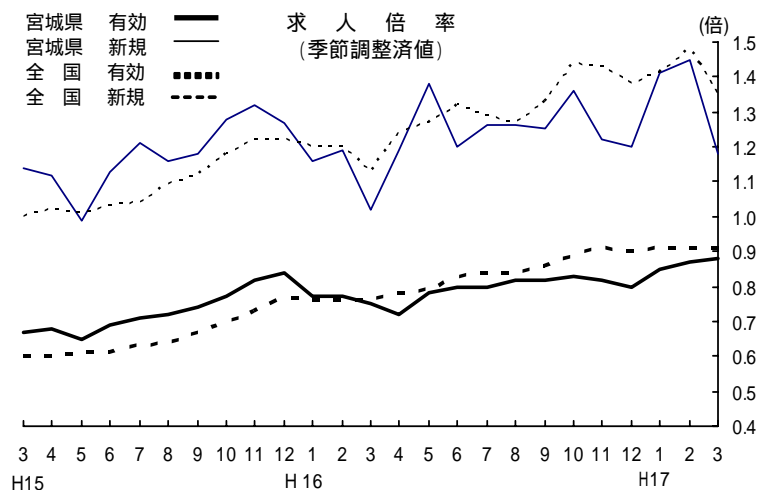
(1) 求人倍率

3月の有効求人倍率(求人数/求職者数、季節調整値、新規学卒者除きパートタイム含む)は0.88倍で、前月を0.01ポイント上回り、3か月連続の上昇となった。新規求人倍率(同)は1.18倍で、前月を0.27ポイント下回り、3か月ぶりに低下となった。

月間有効求人数及び新規求人数(新規学卒者除きパートタイム含む)は、有効が前年同月比11.3%の増加となり、11か月連続の増加となった。新規は前年同月比8.6%の増加となり、3か月連続の増加となった。

産業別の新規求人数(一般)では前月11か月ぶりに増加となった製造業は減少となった。サービス業は5か月連続の増加となった。

(資料:宮城労働局)

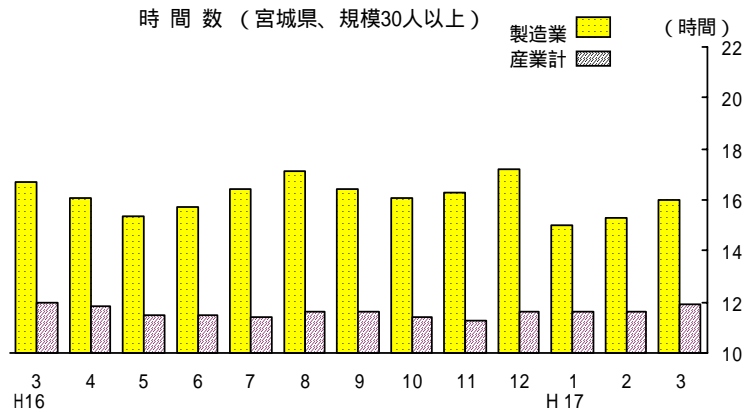


(2) 所定外労働時間

3月の所定外労働時間（製造業、事業所規模30人以上、1人平均月間）は16.0時間で、前年同月比4.1%の減少となった。

調査産業全体（事業所規模30人以上、1人平均月間）では所定外労働時間は11.9時間で、前年同月比0.9%の減少となった。

（資料：県統計課）

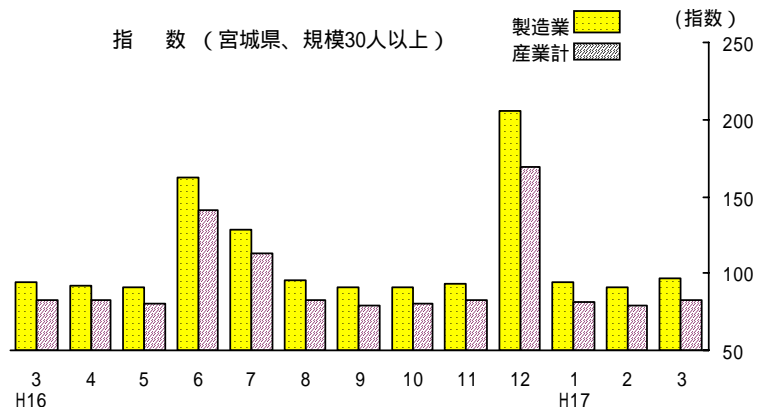


(3) 実質賃金指数

3月の実質賃金指数（平成12年=100、現金給与総額、製造業、事業所規模30人以上）は97.3で、前年同月比3.2%の上昇となった。

調査産業全体では82.7で、前年同月比0.4%の上昇となった。

（資料：県統計課）

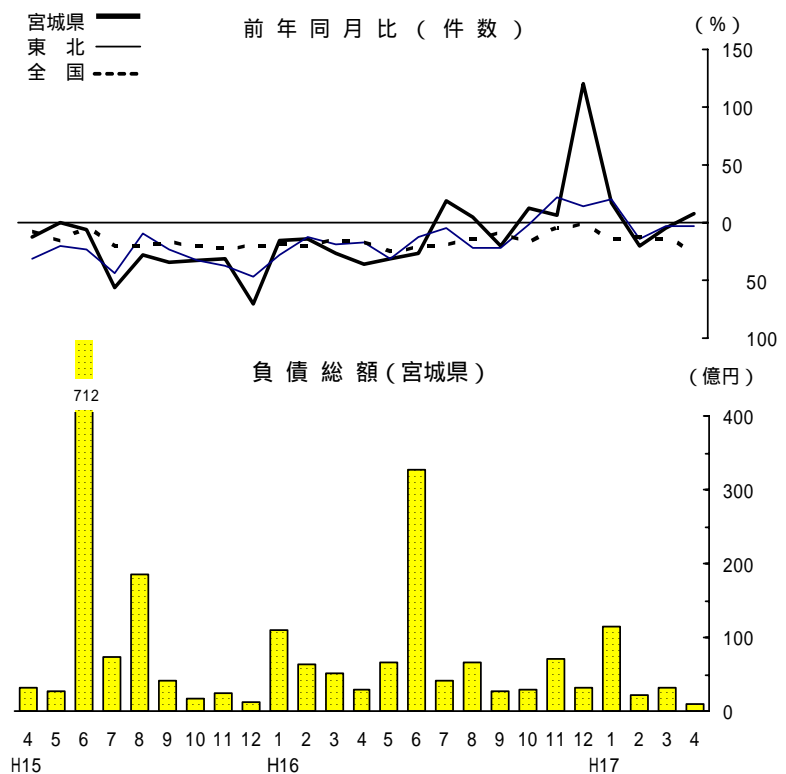


6 企業倒産

4月の企業倒産（負債総額1,000万円以上）は15件で、前年同月比7.1%の増加となり、3か月ぶりに増加となった。負債総額は9億5,400万円の低水準で、前年同月比68.7%の大幅な減少となり、3か月連続の減少となった。大型倒産（負債総額10億円以上）は3か月連続で発生しなかったが、倒産の主流は中小零細クラスが占めた。

また、中小企業金融安定化特別保証制度利用企業の倒産は2件で、倒産件数全体に占める割合が13.3%となり3か月連続の低下となった。

（資料：株東京商工リサーチ）



宮城県景気動向指数（概要）

1 概況

3月の景気動向指数は、先行指数55.6%、一致指数37.5%、遅行指数80.0%となった。先行指数は4か月振りに50%を上回った。一致指数は3か月振りに50%を下回った。遅行指数は8か月連続で50%を上回った。

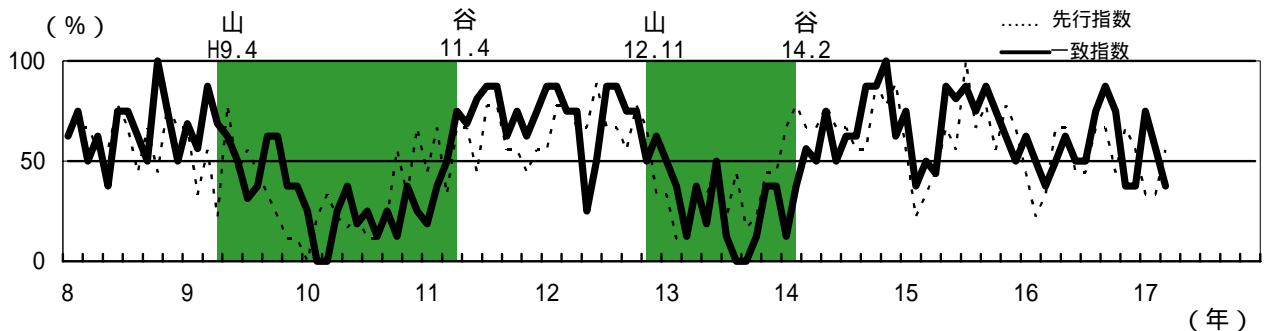
2 景気動向指数変化方向表

系列名		平成16年								17年				
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
先行系列	1 新規求人数	季	-	+	+	+	+	-	+	-	+	-	+	1
	2 所定外労働時間指数(製造業)	前	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	2
	3 生産財生産指数	季	+	+	+	+	-	-	+	-	-	-	-	3
	4 自動車新規登録台数	季	-	-	+	+	+	-	+	+	+	-	-	4
	5 新設住宅着工床面積	季	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-	-	5
	6 建築着工床面積	季	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	+	6
	7 企業倒産件数	季,逆	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	+	7
	8 全銀貸出残高	前	-	-	+	+	+	+	+	+	-	+	+	8
	9 中小企業業界景況感		+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	9
	拡張系列数		5.0	5.0	4.0	6.0	5.0	5.0	5.0	4.0	3.0	3.0	5.0	
採用系列数		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
先行指数(DI)		55.6	55.6	44.4	66.7	55.6	55.6	55.6	44.4	33.3	33.3	55.6		
一致系列	1 雇用保険受給者実人員	季,逆	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-	1
	2 有効求人倍率	季	-	+	+	+	+	0	+	+	+	0	-	2
	3 人件費比率(製造業)	季,逆	+	+	+	+	-	0	+	-	-	-	-	3
	4 鉱工業生産指数	季	+	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	4
	5 投資財生産指数	季	+	-	-	+	+	+	-	+	+	-	-	5
	6 大口電力使用量	季	-	-	-	+	+	+	-	-	+	+	+	6
	7 大型小売店販売額	季	-	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	7
	8 輸入通関実績	季	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	8
	拡張系列数		5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	3.0	3.0	6.0	4.5	3.0	
	採用系列数		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
一致指数(DI)		62.5	62.5	75.0	75.0	75.0	75.0	37.5	37.5	75.0	56.3	37.5		
遅行系列	1 常用雇用指数(製造業)	季	-	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	1
	2 消費者物価指数(仙台市)	前	-	0	+	-	+	+	+	+	-	-	-	2
	3 勤労者世帯消費支出(〃)	前	+	+	-	+	+	+	-	-	+	+	+	3
	4 営業倉庫保管残高	季	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	4
	5 法人事業税収入	季	+	-	-	+	+	+	+	+	-	+	+	5
	拡張系列数		3.0	2.5	2.0	3.0	5.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	
採用系列数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
遅行指数(DI)		60.0	50.0	40.0	60.0	100.0	80.0	60.0	60.0	60.0	60.0	80.0		

(注) 1 季は季節調整済(センサス局法 - 11)。前は前年同月比。逆は逆サイクル。

2 各系列の変化方向は、3か月前との比較による。

3 景気動向指数グラフ



全国・東北等の景況

(下線部は前月からの主要変化部分。 → は変化方向)

1 全国の景況

月例経済報告(内閣府)  5月19日 [<http://www.cao.go.jp/>]

景気は、一部に弱い動きが続くものの、緩やかに回復している。

- ・企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。
- ・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
- ・輸出、生産は横ばいとなっている。

先行きについては、企業部門の好調さが持続しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。

4/13 景気は、一部に弱い動きが続いており、回復が緩やかになっている。

- ・企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。
- ・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
- ・輸出は弱含み、生産は横ばいとなっている。

先行きについては、企業部門の好調さが持続しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。

金融経済月報(日本銀行)  5月20日 [<http://www.boj.or.jp/>]


わが国の景気は、IT関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている。輸出は持ち直しつつあるが、IT関連分野の在庫調整が進むもとで、生産は緩やかに増加している。設備投資は、高水準の企業収益を背景として、製造業を中心に増加傾向にある。また、雇用面での改善傾向が続き、雇用者所得もはっきりと下げ止まる中で、個人消費は底堅く推移している。この間、住宅投資は横ばい圏内で推移しており、公共投資は基調としては減少傾向にある。先行きについても、景気は回復を続けていくとみられる。

4/7 わが国の景気は、IT関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている。輸出は持ち直しつつあるが、IT関連分野の在庫調整が続いていることなどから、生産は横ばい圏内の動きとなっており、企業の業況感にはやや慎重さがうかがえる。一方、設備投資をみると、企業収益が改善基調を維持するもとで、製造業を中心に増加傾向にある。

また、雇用面での改善傾向が続き、雇用者所得も下げ止まりが明確になる中で、個人消費は底堅く推移している。この間、住宅投資は横ばい圏内で推移しており、公共投資は基調としては減少傾向にある。

先行きについても、景気は回復を続けていくとみられる。

2 東北の景況

東北経済産業局管内の経済動向(東北経済産業局)  5月19日 [<http://www.tohoku.meti.go.jp/>]

- ・鉱工業生産は、横ばい傾向で推移している。
- ・個人消費は、全体として弱含んでいる。
- ・住宅着工戸数は、下げ止まりの動きがみられる。
- ・公共投資は、引き続き低調な動きとなっている。
- ・設備投資は、製造業の一部に積極的な投資の動きがみられる。

- ・雇用は、改善の動きがみられるが、依然として厳しさが残っている。
- ・企業倒産は、件数はこのところ落ち着いており、小康状態を保っている。

管内の景気動向は、公共投資は引き続き低調であり、個人消費も全体として弱含んでいる。一方、住宅着工は下げ止まりの動き、設備投資の一部に明るい動き、雇用にも改善の動きがみられるものの、鉱工業生産はこのところ横ばい傾向で推移している。

このように、全体としては緩やかな持ち直しの動きに一服感がみられている。

4/20 管内の景気動向は、公共投資は引き続き低調であり、個人消費も全体として弱含んでいる。一方、住宅着工は下げ止まりの動き、設備投資の一部に明るい動き、雇用にも改善の動きがみられるものの、鉱工業生産はこのところ横ばい傾向で推移している。

このように、全体としては緩やかな持ち直しの動きに一服感がみられている。

管内の金融経済概況（日本銀行仙台支店）



4月28日

[<http://www3.boj.or.jp/sendai/index.html>]

管内（宮城、岩手、山形）経済は、足踏み状態が続いている。

すなわち、IT関連分野では先行き受注回復期待が台頭しつつあるが、足もとにはなお在庫調整の影響が尾を引き、生産は横ばい圏内で推移している。個人消費は、一部の耐久消費財で持ち直しの動きがみられるが、所得の改善が捗々しくないため、全体としては一進一退で推移している。住宅投資は横ばい圏内で推移しているほか、公共投資は減少傾向にある。

この間、曜日構成にも恵まれゴールデンウィーク期間中の旅行予約状況が好調であることのほか、楽天イーグルスの本拠地開催本格化や「義経」放送効果の浸透などが部分的ながらも管内経済の支えに寄与している。

4/1 管内経済は、IT関連分野の在庫調整が尾を引いていることなどから、足踏み状態が続いており、企業マイナンドも足もとと製造業を中心に悪化している。もっとも、先行き在庫調整一巡後の持ち直しへの期待感も根強く、2005年度は設備投資が引き続き高水準な計画にあるほか、企業収益も下期を中心に回復を予想している。この間、東北楽天ゴールデンイーグルスの始動や「義経」効果に伴う地域経済への好影響が徐々に浸透しつつある。

また、金融面では平静な状況でペイオフ全面解禁を迎えた。

3 宮城の景況

県内景気の動き（七十七銀行）



4月19日

[<http://www.77bank.co.jp>]

3月を中心とした県内景況をみると、全体として景気は、持ち直しの動きが鈍化しており、足踏み感がうかがわれるものとなっている。なお、企業の景況感は大幅に悪化している。生産面では、鉱工業生産がなお高水準を維持しているが、足元では弱めの動きとなっている。一方、需要面では、個人消費が一部に弱い動きがみられるが、総じて一進一退の動きとなっている。公共投資は引き続き低調に推移しており、住宅投資はやや上向きの動きがみられるが、概ね横ばい圏内の動きとなっている。

また、雇用情勢は、なお厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

4/19 2月を中心とした県内景況をみると、全体として景気は、持ち直しの動きが鈍化しており、やや足踏み感がうかがわれるものとなっている。生産面では、鉱工業生産がなお高水準を維持しているが、足元では弱めの動きとなっている。一方、需要面では、個人消費が一部に弱い動きがみられるが、総じて一進一退の動きとなっている。公共投資は引き続き低調に推移しており、住宅投資はやや上向きの動きがみられるが、概ね横ばい圏内の動きとなっている。また、雇用情勢は、なお厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。